

# Via Latina 22



総本部よりのお知らせ—マリア会

## アフリカの2地区で誓願式

2014年8月  
235号



マリア会トーゴ地区は2014年7月12日土曜日、Kara司教座聖堂にてThierry Tchamie Kadja士の終生誓願式を執り行いました。この同じ誓願式で新しい二名の修練者が初誓願を宣立しました。David Simtcha Kokoma士とPaul Gnô Solima Ela N'Dakpazé士です。



誓願式は午前9時に行列によって開始されました。ミサはトーゴ地区長のIgnace Pagnan師の司式で10名ほどの司祭と共に執り行われました。その中にはKara教区司教の代理として司教総代理も参列しました。この荘厳な式典の初めに、司教総代理のInnocent師が、教区に於いてマリアニストが高い評価を得ていることに賛辞と歓迎の言葉を述べられました。この声明の後、マリア会地区長とこれら若い修道者との問答が行われ、その中で彼らはマリア会で誓願を立てたいとの望みと意志を表明しました。

Kondwani Chimpikizo (Malawi)、Elvis Mwewa (Zambia)、そしてJoel Kaira (Malawi)の三名は、2014年7月12日、KenyaのLimuruにあるマリアニスト修練院に於いて、マリア会の初誓願を宣立しました。マリア会地区長Gabriel Kirangah師がミサを司式し、説教を行い、そして、誓願を受け入れました。また、地区長評議員会メンバーのであるValentine Chola士が地区長を補佐しました。また、汚れなきマリア修道会の総長、シスターFranca Zontaもこの地区を訪問しており、この誓願式に出席さ



左→右: Fr. Gabriel Kirangah, Brothers Chola Mulenga, Elvis Mwewa, Joel Kaira, Sr. Franca Zonta, FMI, Bro. Kondwani Chimpikizo. Photo courtesy Bro. Patrice Kagai, SM



れました。新しい誓願者たちは地区の共同体と仕事に、すなわち、Kondwani Chimpikizo士はZambiaのLusakaにあるFaustino志願者養成共同体へ、Elvis Mwewa士はKenyaのNairobiにあるナザレの聖母小学校での任務のためにDavis House共同体へ、Joel Kaira士はマリアニスト開発プロジェクトでの任務のためにKenyaのMombasaにあるモンバサ共同体に、それぞれすでに派遣されていました。

Bros. Joel Kaira, Elvis Mwewa, Kondwani Chimpikizo, addressing the community during the vow ceremony. Photo courtesy of Bro. Timothy Phillips, SM

## 二つの国際養成会議

**前**回の総会の要請に応える形で (To Enliven the Fire, 38b)、養成に関する三つの国際会議が総長評議員会で計画されてきました。その中の二つの会議がローマの本部で開かれ、7月末に終わったところです。英語圏のグループは2014年7月7日から17日まで東アフリカ、インド、メリバ、アメリカ、韓国、日本、オーストラリアからの34名の出席者でした。フランス語圏のグループは7月21日から31日までカナダ、コンゴ、アイボリーコースト、トーゴ、フランス、イタリアからの26名の出席者でした。



The EN speaking group in front of the G.A. fountain, Rome.

この二つの会議は4名の修道者（総本部から André Fétis 師と Maximin Magnan 士、そして現在修練長である David Fleming 師と Jomo Mwaura 師）から成る委員会によってリードされました。総長評議員会全員の出席は、一つひとつの会議に汚れなきマリア修道会の総本部を代表して分かち合いをしてくださった霊生局長シスター Susanna Kim と教育局長のシスター Ana Lucia de Goes と共に、この養成会議の重要性を強調していました。霊生局長シスター Susanna Kim は最初の会議に、教育局長のシスター Ana Lúcia de Góes は2番目の会議にそれぞれ出席されました。この10日間の会期中、参加者によってなされた報告、発表は、全体会議での対話の時間の中で、または、種々の責任分野（召命司牧担当、志願期担当、修練期担当、評議員会メンバー）あるいは各行政単位を代表する小グループ会議での対話の時間の中で、密度濃く交互に行われました。



The presentation of Fr. Manuel Cortés for the EN speaking group.

これら研修会の特に素晴らしい点は、おそらく初めてのことで、各行政単位の教育部長、霊生部長も養成会議に出席したことです。その目的は、行政単位の各部長と養成担当者との密接な協力を強化すること、また、養成と活動共同体生活との一貫性を強調することでした。

発表と分かち合いは大変豊かなもので、出席者が「マリア会養成指針」について深く考えるようにしてくれました。特に強調すべき点は次の通りです。

- 養成課程における一貫性と継続性、特に、養成担当者間の協力、および、その行政単位評議員会との協力を通して。
- 養成課程の各段階におけるしっかりとした識別、特に、一人ひとりの修道士あるいは司祭としての方向性に関して。
- 各養成段階はその任務を十分に完了させる必要があるということ。



- 養成担当者者の選択と準備。
- 初期養成のダイナミズムと継続養成のそれとの間の継続性についての強調。
- 各行政単位において養成の重要性を促す雰囲気醸し出し、あるいは強化すること。



The FR speaking group in front of the *Madonnina*, Rome.

私たちはまた修道生活への現代のある種の挑戦、特に、新しいコミュニケーション手段の使用、および、私たちの世界が抱える正義の問題にコミットするようとの呼びかけについても考察しました。

私たちは異なる文化の兄弟たちとの共同体生活と祈りを体験する時間を持つことが出来ました。また1日の息抜きの機会に、皆、OrvietoとBolsenaの美しさを堪能し、また、この二つの町と関連した豊かな御聖体の教え、すなわち、キリストの聖体のお祝いの起源となっている教えについて黙想する事が出来ました。あるグループは使徒聖ペトロの墓でミサをする特別な機会を持ちました。

スペイン語圏の第3番目のグループは、2015年1月12日から22日まで、コロンビアのボゴタに集まります。この会議をもって、養成に関する最初の考察段階は終了します。しかし、各行政単位においては、今後もマリア会全体の養成に良い結果をもたらすために、この会議の継続的な成果が認められていくでしょう。

これら会議に出席された皆様に感謝します！



The FR speaking group during a working session.

